

# Marp Nextで頑張る

お試しファイルです

# インストールから表示まで

旧: Marp

新: [Marp Next](#)

Marpit フレームワークとMarp Core2つの核となるモジュールがある

今からやるのは[Marp CLI](#)という、Marpアプリケーションの一種で、Node.jsをインストールしてスライドをWebページで公開できるもの

参考サイト

- [M3テックブログ](#)
- [Marpit Markdown](#)

# 基本的にエムスリーテックブログと同じ

1. まずはnode.jsをインストールする

node.jsってなに

→ フロントエンド言語であるjavascriptをサーバーサイドにも使えるようにした言語

2. スライドを置くディレクトリを作成し、 `package.json` を作成する

marpのバージョンだけ最新版に変えた(`dependencies`のところ)

```
{  
  "name": "my-slide",  
  "version": "1.0.0",  
  "main": "index.js",  
  "author": "作者名",  
  "license": "UNLICENSED",  
  "private": true,  
  "scripts": {  
    "dev": "marp --html --server .",  
    "build": "marp --html --pdf --allow-local-files --title 'スライドのタイトル' slide.md -o ./slide.pdf"  
  },  
  "dependencies": {  
    "@marp-team/marp-cli": "^0.16.2"  
  }  
}
```

### 3. \$ yarn install を実行する

自分はnode.jsをインストールしたのに command not found って  
言われたから \$ brew install yarn した

### 4. エディタVSコードでマークダウンファイルを記述する

[Marp for VSCode] プラグインをダウンロード  
スクショで画像を貼り付ける際は

1. 拡張機能「Paste Image」をダウンロード

2. Ctrl + Shift + Command + 4 で範囲選択してスクショ取得&クリップボードに取り込み

3. Option + Command + v でmarkdownファイル中に貼り付け  
→同じディレクトリに画像が勝手に保存されている

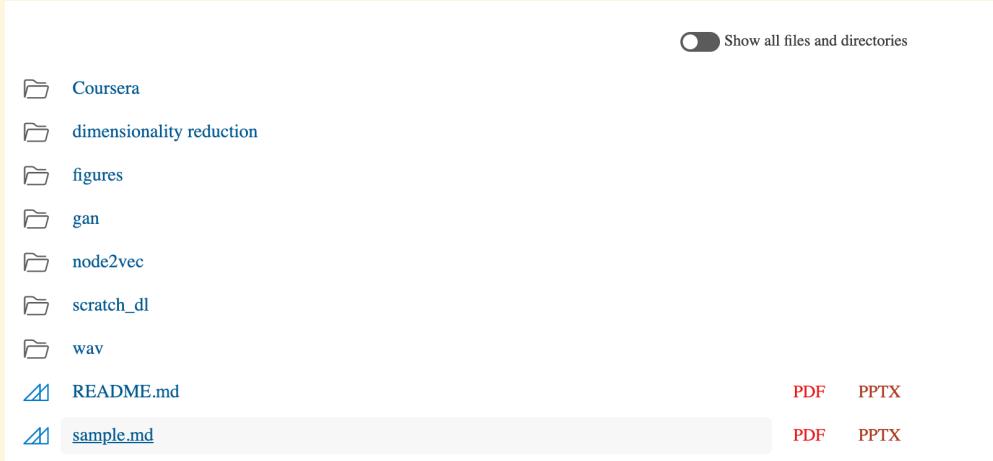
#### 画像のサイズ指定など

今の所Markdownで真ん中寄せにするには <div align='center'></div> と書くしかなさそうだけど Marp でやるのかどうやるのかわからない

<https://qiita.com/takkii/items/d09668cbf85cbdec7001>



5. コマンドで `$ yarn dev` を実行  
localhost:8080でスライドがみれる



右上の「PDF」「PPTX」でスライドをダウンロードすることも可能  
でもPPTXはテキスト部分等編集できない！スライドは分かれてるけど！残念！

# メモ

コマンド `npx` を使ってインストールする方法もあるけど  
package.jsonで記述してMarpCLIを導入する利点として

- `npx` で毎回起動すると遅い点
- `dependencies` でのバージョン指定はしておいたほうが良い点
- `package.json` の `scripts` にコマンドを記述しておいたほうがシンプルである点

システム全体にインストールされるのではなく、特定のディレクトリ配下にMarpCLIがインストールされる利点として

- プрезентーションごとに異なるバージョンの `marp` (や `marp` の依存ライブラリ)を利用できる  
`Marp` やそれが依存する JavaScript ライブラリは開発が活発ですし、過去に作ったスライドを最新版で開いたら変なことに...という事態を回避する意味で重要です
- `package.json` と同じ階層の `node_modules` 以下に配置されるだけなので、管理者権限が不要 & システムの環境が汚れる心配もない  
(Git を使う場合、`node_modules/` は `.gitignore` に指定した方が良いです。)

# Directives

スライドの書式の宣言等の仕方。

1. Global directives: 全体に適用される。スライドマスターみたいなもの

```
<!-- backgroundColor: white -->
# Directives
スライドの書式の宣言等の仕方。

1. Global directives: 全体に適用される。スライドマスターみたいなもの

---  
2枚目以降のスライドにも適用される
```

2. Local directives: 各ページに適用される

```
<!-- _backgroundColor: white -->
先頭に`_`をつける
# Directives
スライドの書式の宣言等の仕方。

---  
2. Local directives: 各ページに適用される
```

# Directives

今使ってるスライドのテーマは theme:gaia だけど、デフォルトだと文字が大きすぎたので自分でカスタマイズ。  
以下コピペで最初にGlobal directiveとして宣言する。

```
---
```

```
marp: true
theme: gaia
paginate: true
footer: 2020/01/08 Marp Cliの使い方
style: |
  section {
    font-family: 'Noto Sans JP';
    color: black;
    font-size: 20px;
  }
  h1 {
    font-size: 34px;
  }
  h2 {
    font-size: 30px;
  }
  section.lead h1{
    font-size: 60px;
  }
---
```

```
---
```

- Marpでは、各スライドがHTMLでいう `<section>` 要素と名付けられている。  
あるスライドの特定の属性(例えば大見出しh1)だけ、フォントサイズなど変更したかったら

```
section.クラス名 h1{  
  font-size:40px;  
}
```

のように指定する。書き方自体はcssと同じ。

# 使いかたもろもろ

- 絵文字はエイリアスで使えるの知らなかつた
- TeXで数式を書く

“

$$c^2 = a^2 + b^2$$

”

$$\vec{a} + \vec{b} = \vec{c}$$

数式は正直難しいけどパワポのGUIで数式をいちいち選択するより楽なはず

# 使いかたもろもろ

- 絵文字はエイリアスで使えるの知らなかつた
- TeXで数式を書く

“

$$c^2 = a^2 + b^2$$

”

$$\vec{a} + \vec{b} = \vec{c}$$

数式は正直難しいけどパワポのGUIで数式をいちいち選択するより楽なはず

アニメーションはできなさそうだけど同じ文章をコピペすることでアニメーションっぽくすることは可能そう

# どう使うか

## メリット

- レイアウトを全く気にしなくていい。図とか文字を画面凝視しながら絶妙に配置しなくて済む。
- LaTeXをそのままかけるので数式をストレスなく挿入できる
- コードブロックが書ける。ハンズオンに最適？特にエンジニア同士の勉強会でかなり使われている模様

## デメリット

- 細かい微調整は無理なので凝ったスライドやプレゼンテーションはできない
- MarkdownやHTML, CSSに慣れていないと手こずって逆に時間かかるかも

## どんな時に使えるか

- 自分のメモをそのままみんなに資料として見せたいとき
- ゼミ資料を凝らずにパパッと作り上げたいとき  
つまり勉強内容をそのままMarpでアウトプットすれば効率いいかもしれない